

廿日市市串戸市民センター

## 体験交流事業

## 「けん玉の広場」

昨年度は「けん玉の広場」(with「けん玉ワールドカップ2016 串戸エキシビジョン」)を開き海外のトップ選手と交流をしながらけん玉の魅力を体験しました。本年度はさらに子供たちが中心となってけん玉ミニ大会を計画し、運営を行いました。また、宿泊体験を通して、子供たちの人間関係形成能力や自主性の育成を図りました。

実施日：平成29年8月19日(土)・20日(日)

参加者：小学生7名



【キーワード】  
伝統文化の  
継承

## つどう



地域の特産品であるけん玉に焦点をあて、子供たちが地域の伝統文化を学ぶ場を設定しました。また、子供たちの自主性を育みたいという思いから、市民センターで宿泊ができる環境を整え、子供たちがミニけん玉大会を計画したり準備したりする時間を確保しました。宿泊にあたっては地域ボランティアやスタッフを集め、安心して活動できるようにしました。

## まなぶ

けん玉の技能を高めるだけでなく製造過程や歴史について学んだり、地元で開催されている廿日市について学び、実際に参加したりする等、地元の特産品や歴史について知り、愛着をもつきっかけとなりました。また、異学年の子供同士で宿泊を体験することで、教え合ったり支え合ったりする経験を通して集団行動における規律を学び、仲間意識を高めることができました。

## むすぶ

小学校や学校支援地域本部、図書ボランティア等と連携を図り、宿泊体験を含めたけん玉広場を実施することができました。また、地元のけん玉クラブの講師を招いてけん玉教室を開き、けん玉に親しむことができました。子供たちが企画したけん玉ミニ大会には、保護者や地域ボランティアの方も参加してくださり、子供たちの励みにもなりました。参加した児童からは「来年もやりたい」という声も聞かれ、今後へ繋がる取組となりました。